

- 1 ヤマト王権の支配力が関東地方まで及んでいたことを示す、埼玉県から出土した重要な鉄剣が見つかった古墳を何という？

- 2 3世紀後半からヤマト王権において、各地の豪族を従えていた最高権力者を何という？

- 3 3世紀後半から奈良盆地を中心に広がり、各地の豪族を従えて日本列島の広範囲に勢力を及ぼした政治連合は何という？

- 4 埼玉県稲荷山古墳から出土した鉄剣に、その名が刻まれているヤマト王権の最高権力者は誰？

- 5 ヤマト王権が、軍事的な指揮権を認めてもらうために中国の南朝へ使者を送った背景として、鉄資源などの確保を目指した地域はどこ？

- 6 熊本県から出土した鉄刀の銘文に漢字が刻まれており、当時の日本で漢字が使われていたことを示す古墳を何という？

- 7 ヤマト王権の支配力が拡大する中、全国に広まった巨大な墳墓の形を何という？

- 8 5世紀ごろ、渡来人によって大陸から日本へもたらされた、記録を可能にする文字体系を何という？

- 9 日本各地で首長の墓が作られ、広い範囲で勢力を広げていた当時の政治的なまとまりを何という？

- 10 6世紀、百済から日本へ正式に伝えられ、日本の政治や文化に大きな影響を与えた宗教を何という？

- 11 稲荷山古墳などの出土品に名前が刻まれ、その支配が九州から関東まで及んでいたとされる大王は誰？

- 12 中国の歴史書『宋書』に記されている、ワカタケル大王（雄略天皇）と同一人物と考えられる王を何という？

- 13 古墳時代に輸入された鉄を利用して作られ、農業生産力を向上させた道具を何という？

- 14 4世紀から7世紀にかけて近畿地方を中心に勢力を広げた勢力を何という？

- 15 5世紀ごろ、日本へ移り住み、高度な技術や文化を伝えた人々が由来した朝鮮半島の国家を何という？

- 16 5世紀後半にヤマト政権の最高権力者が用いた称号を何という？

- 17 円形と方形を組み合わせた鍵穴のような形をしている、古墳時代に作られた日本最大規模の墓を何という？

- 18 5世紀ごろ、日本に漢字や経典を伝えたと言われる、百済から来た人物は誰？

- 19 5世紀のヤマト王権が、外交のために使者を派遣していた中国の王朝はどこ？

- 20 6世紀、日本への仏教伝来に際して、その導入に賛成した有力な豪族は誰？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	埼玉県にある <u>稲荷山古墳</u> から出土した鉄剣には、金象嵌で文字が刻まれていました。		<u>稲荷山古墳</u>	☐
2	ヤマト王権の長は「 <u>大王</u> （おおきみ）」と呼ばれ、各地の豪族を服属させたり、有力豪族を中央の官職につけたりして国を治めました。		<u>大王</u>	☐
3	<u>ヤマト王権</u> は、現在の奈良県周辺を拠点とし、強大な力を持った豪族の連合体です。		<u>ヤマト王権</u>	☐
4	<u>ワカタケル大王</u> は、当時のヤマト王権の最高権力者で、一般に雄略天皇と同一人物であると考えられています。		<u>ワカタケル大王</u>	☐
5	ヤマト王権は、半島南部の諸国との交流を強めることで、安定した鉄の供給を図りました。		<u>朝鮮半島</u>	☐
6	<u>江田船山古墳</u> からは、金銀象嵌（ぞうがん）が施された鉄刀が出土しました。		<u>江田船山古墳</u>	☐
7	<u>前方後円墳</u> は、四角い「前方部」と円形の「後円部」を組み合わせた特徴的な形状で、規模の大きさはそのまま権力の大きさを表していました。		<u>前方後円墳</u>	☐
8	<u>漢字</u> は、渡来人によって『論語』などの書物とともに日本へ持ち込まれました。		<u>漢字</u>	☐
9	<u>ヤマト王権</u> は、古墳の築造や鉄製品の供給などを通じて各地の豪族を統制しました。		<u>ヤマト王権</u>	☐
10	<u>仏教</u> の伝来は単なる宗教の広まりにとどまらず、新しい文明の到来を意味しました。		<u>仏教</u>	☐
11	「 <u>ワカタケル大王</u> 」の名は、埼玉県と熊本県の古墳から出土した鉄剣・鉄刀に象嵌で記されています。		<u>ワカタケル大王</u>	☐
12	中国の歴史書である『宋書』には、倭国の王の名前が記されており、その中の「武」は、国内の遺跡から発見された鉄剣の銘文にある「ワカタケル大王（雄略天皇）」のことだと考えられています。		<u>倭王武</u>	☐
13	鉄製の鋤（すき）や鍬（くわ）などの <u>鉄製農具</u> が普及したことで、それまで開墾できなかった硬い土地の耕作が可能になりました。		<u>鉄製農具</u>	☐
14	<u>ヤマト王権</u> は、近畿地方を中心に各地の豪族と連合して国内を統治する政治組織です。		<u>ヤマト王権</u>	☐
15	<u>百濟</u> から移り住んだ渡来人は、先進的な技術を持った職人や学者、僧侶などでした。		<u>百濟</u>	☐
16	この時期の最高権力者は「 <u>大王</u> （おおきみ）」という称号と呼ばれ、各地の豪族を従えて国を治めました。		<u>大王</u>	☐
17	<u>前方後円墳</u> は、円形と方形を組み合わせた日本独自の形状で、大和地方を中心に全国各地へ広がりました。		<u>前方後円墳</u>	☐
18	<u>王仁</u> は伝説的な人物として『古事記』や『日本書紀』に記されており、百濟の王から日本へ派遣されたとされています。		<u>王仁</u>	☐
19	ヤマト王権の指導者たちは、半島での影響力を強める正当性を得るため、南朝の皇帝へ使者を派遣しました。		<u>宋</u>	☐
20	<u>蘇我氏</u> は、百濟から伝わった仏教の持つ高度な知識や技術にいち早く目をつけました。		<u>蘇我氏</u>	☐

言えなかった用語ノート